

---

10 月 30 日 (金)

---

受付開始： 12:00

午後の部会 (13:00~15:30)

**部会 1 国際組織と国際秩序—1940 年代再考**

司会 大芝亮 (青山学院大学)

報告 細谷雄一 (慶應義塾大学)

「普遍主義と地域主義の交錯—国連創設とイギリス」

三牧聖子 (関西外国語大学)

「アメリカの理想と国際組織」

石黒亜維 (大阪商業大学)

「中華民国と国連」

討論 山田哲也 (南山大学)

半澤朝彦 (明治学院大学)

**部会 2 古典的国際政治論の『英国学派』からの解放**

司会 小川浩之 (東京大学)

報告 西村邦行 (北海道教育大学)

「なぜ『アメリカの社会科学』に抗すべきでないか—記号としての英国学派とその限界」

葛谷彩 (明治学院大学)

「H・バターフィールドと高坂正堯の国際政治論—ドイツの知的伝統の視点から」

宮下豊 (所属なし)

「現状の防衛という自己義認—H・バターフィールドの政治的判断について」

討論 大中真 (桜美林大学)

宮下雄一郎 (松山大学)

**部会 3 ASEAN 共同体設立と東アジア地域秩序**

司会 大庭三枝 (東京理科大学)

報告 川島真 (東京大学)

「中国の対東南アジア・ASEAN 外交 (仮)」

清水一史 (九州大学)

「ASEAN 経済統合と東アジア」

鈴木早苗 (アジア経済研究所)

「ASEAN 協力の展開と東アジア」

討論 山影進 (青山学院大学)

佐橋亮（神奈川県）  
中山俊宏（慶應義塾大学）

#### 部会4 対脆弱国家支援における「ハイブリッドな連携」—開発援助と安全保障をつなぐ安定化活動の課題

司会 吉崎知典（防衛省防衛研究所）

報告 藤重博美（法政大学）

「ハイブリッドな連携の国際的潮流—英国（開発中心）と米国（安全保障中心）の事例を中心に」

上杉勇司（早稲田大学）

「日本のハイブリッドな連携—"All Japan" の現状と限界、今後への課題」

安富淳（平和・安全保障研究所）

「『ハイブリッドな連携』をめぐる理論的考察」

討論 落合直之（国際協力機構）

川口智恵（国際協力機構）

#### 部会5 ヨーロッパにおけるガバナンスの現在（自由論題部会）

司会・討論 森井裕一（東京大学）

報告 佐藤良輔（神戸大学）

「ヨーロッパにおける移民統合政策の変容—『市民統合』政策への収斂とその多様性」

神江沙蘭（関西大学）

「欧州統合と金融ガバナンス—不均衡な発展」

東村紀子（大阪大学）

「『国益』と『人道主義』の狭間で揺れるフランスの移民政策—EU 共通移民政策の策定過程におけるパラドックスと今後の展望」

討論 白井陽一郎（新潟国際情報大学）

●分科会セッションA（15：45～17：15） 別掲

●分科会セッションB（17：30～19：30） 別掲

---

10月31日（土）

---

受付開始： 9：00

午前の部会（9：30～12：00）

#### 部会6 "Re-examining Korean and Japanese Grand Strategies" 【日韓合同部会】

Chair: Hiroshi Nakanishi (President, JAIR/Kyoto University)

Paper Presenters: Mataka Kamiya (National Defense University)

“Japan’s Grand Strategy and the U.S.-Japan Alliance (TBC)”

Kim Taehyun (Chung-Ang University)

“Systemic Change, the Search for Grand Strategies and  
Theories of International Relations”

Chun Chaesung (Seoul National University)

“Complex Evolution of East Asian Regional Architecture and  
South Korean Foreign Policy”

Discussants: Yasuhiro Izumikawa (Chuo University)

Park Young-June (Korea National Defense University)

### 部会7 Seventy Years of Post-World War II U.S.-Japan Relations 【英語部会】

Chair: Haruo Iguchi (Kwansei Gakuin University)

Paper Presenters: Tsuyoshi Kawasaki (Simon Fraser University)

“Postwar Japan-US Relations: A Perspective from Gilpinian Realism”

Marc Gallicchio (Villanova University)

“The Search for a Usable Past: The U.S. and the Lessons of the  
Occupation of Japan”

Sayuri Guthrie Shimizu (Rice University)

“The Hidden Cost of a Usable Past: A Gendered Reflection on  
Postwar US-Japanese Relations”

Discussants: Liang Pan (University of Tsukuba)

Isao Miyaoka (Keio University)

### 部会8 東アジアの公民運動と「中国ファクター」

司会 中居良文 (学習院大学)

報告 若林正文 (早稲田大学)

「『辺境東アジア』政治のアカウンタビリティ問題—2014年の台湾、香港、沖縄」

倉田徹 (立教大学)

「『中国化』と香港の社会運動—『中港矛盾』、『雨傘運動』とその先」

呉茂松 (慶応義塾大学)

「現代中国政治における維権運動の位相」

討論 鹿島正裕 (放送大学)

松田康博 (東京大学)

### 部会9 ドイツ統一をめぐる国際政治

司会・討論 妹尾哲志 (専修大学)

報告 芝崎祐典 (成城大学)

「ヨーロッパの中のドイツ統一」

吉田徹 (北海道大学)

「『分け隔てる壁は天空に届かず』—ドイツ統一をめぐるミッテラン外交」

吉留公太 (神奈川大学)

「冷戦終焉期におけるアメリカの対ヨーロッパ政策とドイツ再統一」  
討論 清水聡（青山学院大学）

#### 部会 10 国際秩序と領域性の変容—圏域・境界・統治

司会 岩下明裕（北海道大学）

報告 高橋良輔（青山学院大学）

「ポスト冷戦秩序の融解と古典地政学への回帰—未来としての過去？」

川久保文紀（中央学院大学）

「9.11 テロ以後の領域性と国境の揺れ動き—IR とボーダースタディーズからの示唆」

内田智（早稲田大学）

「国境横断的な熟議デモクラシーの正統性と代表性—EU の社会実験からみた制度化への争点と課題」

討論 宮脇昇（立命館大学）

前田幸男（大阪経済法科大学）

#### 部会 11 国際協調の諸相（自由論題部会）

司会・討論 芝崎厚士（駒澤大学）

報告 井上一郎（関西学院大学）

「中国の対外紛争におけるエスカレーションとその沈静化プロセス」

大原俊一郎（亜細亜大学）

「勢力均衡からヨーロッパ協調へ—勢力均衡思想の社会化過程」

重松尚（東京大学）

「ソ連＝リトアニア相互援助条約の交渉過程」

討論 青山瑠妙（早稲田大学）

志摩園子（昭和女子大学）

#### ●分科会セッション C（13：30～15：10） 別掲

##### 【共通論題】 日本の安全保障—戦後 70 年からどこに向かうのか—

15：20～18：10 1階大ホール

司会 遠藤誠治（成蹊大学）

パネリスト

北岡伸一（国際大学）

石田淳（東京大学）

佐藤学（沖縄国際大）

高原明生（東京大学）

池内恵（東京大学）

山口昇（国際大学）

総会 (18:10~18:40)

懇親会 (19:00~20:30)

---

11月1日(日)

---

受付開始: 9:00

●分科会セッションD (9:30~11:00) 別掲

●分科会セッションE (11:15~12:45) 別掲

●IRAPセミナー (12:45~14:00)

IRAP編集委員会は昨年度に続き、英語論文投稿の手引き解説や、実際に投稿経験のある会員の経験談を交えたチュートリアルからなる特別セミナーを開催します。十分な質疑応答の時間を設け、英語による知的発信が盛んになる契機にしたいと考えます。

関心のある多くの会員の出席をお待ちしております。またオックスフォード出版局の方にも出席をお願いし、会場の質問に対応したいと思います。

司会 多湖淳 (神戸大学)

プレゼンター 川崎剛(サイモン・フレイザー大学)

午後の部会 (14:00~16:30)

**部会12 戦後日本の「リアリズム」の射程—歴史・理論・実践**

司会 鈴木宏尚 (静岡大学)

報告 春名展生 (東京外国語大学)

「リアリストの誕生—国際政治学の戦前から戦後へ」

中本義彦 (静岡大学)

「日本のリアリズムとアメリカのリアリズム」

佐道明広 (中京大学)

「戦後日本のリアリストと安全保障政策—戦後の国際政治学と実践」

討論 福田毅 (国会図書館)

森田吉彦 (大阪観光大学)

**部会13 多中心化するグローバル・ガバナンスにおける国際機関の役割**

司会・討論 都留康子 (上智大学)

報告 山田高敬 (名古屋大学)

「水資源管理における目標志向型ハイブリッド・ガバナンスの可能性」

亀山康子 (国立環境研究所)

「気候変動レジームにおけるグローバル・ガバナンスの現状と課題」

内記香子（大阪大学）

「持続可能な食と農業分野におけるオーケストレーション：国際機関とプライベート・アクターの関係に注目して」

討論 三浦聡（名古屋大学）

#### 部会 1 4 終戦をめぐる国際関係—日中戦争・太平洋戦争を中心に

司会 戸部良一（帝京大学）

報告 鈴木多聞（京都大学）

「『昭和天皇実録』と日本の終戦」

松村史紀（宇都宮大学）

「終戦後、中ソ同盟の対日戦略」

李錫敏（慶應義塾大学）

「ソ連の対日参戦における政治的条件に関するローズヴェルトとトルーマン政権の認識の相違」

討論 庄司潤一郎（防衛研究所）

森山優（静岡県立大学）

#### 部会 1 5 集団安全保障の展開と現状【兼・市民公開講座】

司会 山本慎一（香川大学）

報告 山下光（防衛研究所）

「国連平和維持活動の変化と国際安全保障における意味合い」

山口正大（国連マリ多元統合安定化ミッション[MINUSMA]DDR 担当官）

「集団安全保障とアフリカ地域機構—その対応と課題、ソマリアとマリの事例から」

植田隆子（国際基督教大学）

「NATO、EU、OSCE— 集団安全保障・集団防衛・協調的安全保障」

討論 渡邊啓貴（東京外国語大学）

東大作（東京大学）

#### 部会 1 6 冷戦変容期の開発援助とアジアの自立化—戦後アジア国際秩序の再編との関連で

司会 木畑洋一（成城大学）

報告 菅英輝（京都外国語大学）

「アメリカの対韓援助政策と朴正熙政権の対応—冷戦の変容と『アジアの台頭』の文脈」

山口育人（奈良大学）

「エカフェからみる 1960 年代・70 年代アジア国際情勢の変容—工業化路線・地域経済協力の議論を手掛かりに」

前川一郎（創価大学）

「イギリス援助のアジアン・シフト」

討論 宮城大蔵（上智大学）

## 日本国際政治学会 2015 年度研究大会分科会プログラム

本プログラムは、2015 年 9 月 2 日現在の暫定版です。最終的なプログラムは大会当日に配布いたしますのでご了承ください。プログラムに関するお問い合わせは、分科会代表幹事（湯浅剛：yuasa.takeshi@gmail.com）までお願いいたします。

### ◆10 月 30 日（金）

#### 分科会セッション A（15:45～17:15）

##### A-1 欧州国際政治史・欧州研究

責任者 芝崎祐典（成城大学）

テーマ 自由論題

司会 芝崎祐典（成城大学）

報告 山本健（西南学院大学）

「レーガン政権の経済制裁と英仏の対応——天然ガス・パイプライン建設をめぐる西側同盟、1981～1982 年」

中川洋一（立命館大学）

「21 世紀のグローバル・ガバナンスにおけるドイツの安保政策と方向性」

討論 川嶋周一（明治大学）

##### A-2 ロシア東欧

責任者 湯浅剛（広島市立大学）

テーマ ヨーロッパとの関係構築——19 世紀と現代

司会 湯浅剛（広島市立大学）

報告 矢口啓朗（東北大学）

「ベルギーの独立をめぐるロシアの行動」

安部雅人（東北大学）

「ユーラシアにおけるエネルギー戦略の新機軸——ウクライナ東部情勢を巡るロシアの天然ガス輸出戦略を中心に」

討論 君塚直隆（関東学院大学）

六鹿茂夫（静岡県立大学）

##### A-3 東アジア I

責任者 西野純也（慶應義塾大学）

テーマ 南北朝鮮の政治と外交

司会 西野純也（慶應義塾大学）

報告 尹錫貞（慶應義塾大学）

「李承晩政権と日本の再軍備、1953～1955」

飯村友紀（日本国際問題研究所）

「『618 建設突撃隊』運動の政策展開過程——北朝鮮における大衆動員体制

の事例分析」  
討論 木宮正史（東京大学）  
平岩俊司（関西学院大学）

#### A-4 理論と方法 I

責任者 石黒馨（神戸大学）

テーマ 国際政治学の方法  
司会 浜中新吾（山形大学）  
報告 中澤香世（早稲田大学）  
「最類似システムデザインと内戦継続期間の独立変数——質的実証研究の科学性」  
河合将志（大阪大学・防衛大学校）  
「アメリカ外交の潮流と政治イデオロギーの系譜——計量テキスト分析による再考」  
討論 鈴木一敏（広島大学）

#### A-5 トランスナショナル

責任者 明石純一（筑波大学）

テーマ 自由論題  
司会 石井由香（静岡県立大学）  
報告 毛利聡子（明星大学）  
「オルタ・グローバリゼーション運動のビジョン——トランスナショナルな水正義運動の事例から」  
中山裕美（東京都市大学）  
「地域的協力プロセスにおける移民と開発——トランスリージョナルな観点から」  
飯笹佐代子（東北文化学園大学）  
「『境界』の政治に翻弄されるボートピープル——豪・インドネシア間海域を中心に」  
討論 高柳彰夫（フェリス女学院大学）  
岡部みどり（上智大学）

#### A-6 若手研究者・院生研究会

責任者 鈴木啓之（日本学術振興会）

テーマ 統治（ガヴァナンス）をめぐる相克——新自由主義・金融・ネーションの観点から  
司会 鈴木啓之（日本学術振興会）  
報告 徳永翔太（九州大学）  
「経済自由主義という鉄の檻——アンドリュー・ギャンブルのハイエク解釈を中心に」  
藤田将史（東京大学）  
「多国間化する最後の貸し手——国内批判回避のための IMF の機能拡大」  
討論 田所昌幸（慶應義塾大学）  
山田高敬（名古屋大学）



## 分科会セッション B (17:30~19:30)

### B-1 日本外交史 I

責任者 加藤聖文 (国文学研究資料館)

テーマ 「ワシントン体制」再考——新秩序の模索・形成・変容

司会 木村昌人 (渋澤財団)

報告 中谷直司 (同志社大学)

『新秩序』は形成されたのか——ワシントン会議 (1921~22) をめぐる日米英関係の再検討

和田華子 (学習院大学)

「第一次世界大戦後における多国間協調システムの誕生と日本外交」

小野坂元 (東京大学)

「ワシントン体制の変容と ILO 事務局の対中関与——上海租界における労働問題を中心に」

湯川勇人 (神戸大学)

「外務省『アジア派』のワシントン体制認識と現状打破構想」

討論 木村昌人 (渋澤財団)

### B-2 東南アジア

責任者 山田満 (早稲田大学)

テーマ 自由論題

司会 山田満 (早稲田大学)

報告 井原伸浩 (名古屋大学)

「1970 年代日本の対東南アジアイメージ外交——ASEAN 諸国の対日不信に注目して」

宮下大夢 (早稲田大学)

「東南アジア地域における「保護する責任」の展望——国家および非国家アクターの規範受容に関する分析」

討論 本多美樹 (早稲田大学)

平川幸子 (早稲田大学)

### B-3 アフリカ

責任者 牧野久美子 (アジア経済研究所)

テーマ アフリカにおける安全保障と援助

司会 牧野久美子 (アジア経済研究所)

報告 白戸圭一 (三井物産戦略研究所)

「サブサハラ・アフリカのイスラム武装勢力の動向と特質について」

佐野康子 (獨協大学)

「西アフリカにおける海洋安全保障——開発援助の役割」

秋月三左子 (早稲田大学)

「対タンザニア援助におけるドナー間協調——英国と北欧の関係を中心に」

討論 片岡貞治 (早稲田大学)

稲田十一（専修大学）

#### B-4 理論と方法Ⅱ

責任者 石黒馨（神戸大学）

テーマ 国際政治の理論——理論・言説・制度

司会 石黒馨（神戸大学）

報告 柴田純志（学習院大学）

「勢力均衡——理論化の試み」

大山貴稔（筑波大学）

「冷戦後の日本における国際関係認識の変容——“リアリズム”的言説の浸透とその含意」

秋山卓哉（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）

「国際制度の変容を理論化する——強化されたPKOが正統性を獲得するまで」

討論 芝井清久（統計数理研究所）

小浜祥子（北海道大学）

#### B-5 安全保障Ⅰ

責任者 鶴岡路人（防衛研究所）

テーマ 核軍縮、核不拡散問題の諸相

司会 鶴岡路人（防衛研究所）

報告 濱村仁（東京大学）

「『休戦ライン』としての核不拡散体制——衝突する規範の棲み分けと異議申立ての構造」

津崎直人（甲子園大学）

「ドイツに配備された核兵器の撤去、及び核兵器共有政策の放棄に関する連邦議会における議論（1983-2014年）」

一政祐行（防衛研究所）

「核兵器の人的影響論議と高高度電磁パルス（HEMP）脅威の再評価」

討論 秋山信将（一橋大学）

鶴岡路人（防衛研究所）

#### B-6 国際政治経済Ⅰ

責任者 和田洋典（青山学院大学）

テーマ AIIB問題を考える視点——日米中の内政、外交、国際機構

司会 岡本至（文京学院大学）

報告 原田幸憲（山口大学）

「中国の国際開発金融機関へのコミットメント——中国の対外援助実施能力分析を通じた一考察」

増永真（文京学院大学、拓殖大学）

「人民元問題を巡る米国の対中交渉——『2レベル・ゲーム』を使った事例研究」

Hyoung-kyu Chey（政策研究大学院大学）

“The Renminbi in Ordinary Economies: A Demand-Side Study of

## Currency Globalization”

岡本至（文京学院大学）

「国際開発金融機関の三つの顔：代理人、行為者、企業——AIIB 問題に向けて」

討論 岡部恭宜（東北大学）  
益尾知佐子（九州大学）

### B-7 政策決定

責任者 信田智人（国際大学）

テーマ 対外政策の国内政治要因

司会 信田智人（国際大学）

報告 草野大希（埼玉大学）、藤田泰昌（長崎大学）

「シグナリングとしての靖国参拝——日本のリーダーは、いつ、なぜ、あえて靖国神社を参拝するのか」

日高薫（大阪大学）

「非人道的兵器の禁止をめぐる国内政治過程——政軍間の情報の非対称性に着目して」

宮崎孝（名古屋経済大学）

「米国中東政策における 2015 年 7 月イラン核合意の含意」

討論 吉崎知典（防衛研究所）

### B-8 国際交流 I

責任者 岸清香（都留文科大学）

テーマ 戦間期の民間国際交流と日本

司会 飯森明子（常磐大学）

報告 番定賢治（東京大学）

「多国間民間国際交流のなかの日本——日本国際連盟協会と国際連盟協会連合会」

中村信之（大阪大学）

「『国民外交』における国家主義と『国際主義』——戦前期日米学生会議を題材に」

高光佳絵（千葉大学）

「企業人の国際的人脈と国際関係——岩永裕吉と日英関係」

討論 飯森明子（常磐大学）

杉村美紀（上智大学）

## ◆10月31日（土）

### 分科会セッション C（13:30～15:10）

#### C-1 日本外交史 II

責任者 加藤聖文（国文学研究資料館）

テーマ 戦争と日本外交

司会 加藤聖文（国文学研究資料館）

- 報告 鍾欣宏（立教大学）  
「東アジア冷戦における日華平和条約と吉田外交」  
小林昭菜（法政大学）  
「第二次世界大戦後のソ連における日本人軍事捕虜に関する最近の研究」  
岡橋純子（聖心女子大学）  
「スイス公使館の軽井沢疎開（1944～45年）と中立国としての立場」  
討論 麻田雅文（岩手大学）

**C-2 アメリカ政治外交** 責任者 中嶋啓雄（大阪大学）

- テーマ 1970年代のアメリカ外交  
司会 中嶋啓雄（大阪大学）  
報告 長史隆（立教大学）  
「アジア太平洋秩序の変容と日米関係——米国による対日関係の再定義  
1973～1976年」  
増古剛久（一橋大学）  
「カーター政権の対ソマリア外交——オガデン戦争におけるソマリアへの  
軍事援助決定から中止までの三週間」  
討論 滝田賢治（中央大学）  
三須拓也（札幌大学）

**C-3 東アジアⅡ** 責任者 西野純也（慶應義塾大学）

- テーマ 第二次世界大戦敗北を挟む140年間の国際関係と日本  
司会 猪口孝（新潟県立大学）  
報告 浅野豊美（早稲田大学）  
「戦後日本・折りたたまれた帝国とその後の軌跡——戦後賠償・南米移住・  
地域総合開発・経済協力そして原子力」  
等松春夫（防衛大学校）  
「戦前の委任統治・戦後の信託統治と日本の対外政策の展開」  
杉山伸也（慶應大学）  
「第二次世界大戦後の国際経済システム・東アジア圏における日本の経済——  
経済指標からの分析」  
討論 山本吉宣（新潟県立大学）  
飯田敬輔（東京大学）

**C-4 中東（使用言語：英語）** 責任者 辻上奈美江（東京大学）

- Title Rising Tension in the Gulf and Arabian Peninsula: Nuclear  
Development, Military Action, and Mediating  
Chair Hirotake Ishiguro (Institute of Developing Economies)  
Presenter Luciano Zaccara (Qatar University)  
“The Iranian Nuclear Deal: Regional Implications, New Strategic  
Alliances and Threat Perceptions”

Hamed Al Abdullah (Kuwait University)

“The Ideology of ISIS”

Takuya Murakami (The Middle East Institute of Japan)

“Oman’s Foreign Policy in the Crisis: Neutralism, Alliance and  
Mediation Diplomacy”

Discussant Abdulreda Assiri (Kuwait University)

Satoru Nakamura (Kobe University)

**C-5 ラテンアメリカ** 責任者 岡部恭宜 (東北大学)

テーマ 近年のラテンアメリカにおける政治経済の変化

司会 松尾秀哉 (北海学園大学)

報告 山岡加奈子 (アジア経済研究所)

「キューバ・米国関係——価値観とアイデアのギャップを中心に」

宮地隆廣 (東京外国語大学)

「ラテンアメリカ諸国の徴税能力に見られる新しい動向に関する考察」

馬場香織 (アジア経済研究所)

「ラテンアメリカにおける年金制度再改革」

討論 岡田勇 (名古屋大学)

**C-6 国際統合** 責任者 中村英俊 (早稲田大学)

テーマ ヨーロッパ統合における「連帯」

司会 福田耕治 (早稲田大学)

報告 土谷岳史 (高崎経済大学)

「シェンゲンのリスクと EU の連帯」

福田八寿絵 (国際医療福祉大学)

「EU の社会保障と連帯——国境を超える患者の医療保障を事例として」

吉沢晃 (早稲田大学)

「競争政策における EU の連帯——加盟国による外資排除と欧州委員会の  
役割」

討論 未定

**C-7 安全保障Ⅱ** 責任者 鶴岡路人 (防衛研究所)

テーマ 米中関係の中・長期的展望——協調か衝突か

司会 高木誠一郎 (日本国際問題研究所)

報告 梅本哲也 (静岡県立大学)

「米国大戦略の中の中国」

浅野亮 (同志社大学)

「中国大戦略の中の米国」

高橋杉雄 (防衛研究所)

「米中軍事戦略の相関」

討論 高木誠一郎 (日本国際問題研究所)

布施哲（テレビ朝日）

### C-8 平和研究

責任者 南山淳（筑波大学）

テーマ 戦後日本におけるアイデンティティと平和

司会 南山淳（筑波大学）

報告 高住直樹（早稲田大学）

「過去の出来事の安全保障化と政治共同体の（再）構成——戦後初期日本の戦争被害言説」

崔紗華（早稲田大学）

「日本における朝鮮人学校の存続——対日講和後の日朝関係の狭間で」

討論 金恵京（日本大学）

南山淳（筑波大学）

### C-9 環境

責任者 石井敦（東北大学）

テーマ 自由論題

司会 石井敦（東北大学）

報告 真田康弘（早稲田大学）

「南極海捕鯨事件とその後：国際司法裁判所（ICJ）判決をどう評価するか——豪州勝訴の要因に関する考察と日本の捕鯨外交における含意」

児矢野マリ（北海道大学）

「南極海捕鯨事件とその後：国際司法裁判所（ICJ）判決をどう評価するか——その「政策志向性」と国際法上の意義」

渡邊智明（九州大学）

「グリーンな競争政策としてのグローバル標準化？——環境製品規格に関する EU 標準化の政治過程を事例に」

討論 和達容子（長崎大学）

阪口功（学習院大学）

## ◆11月1日（日）

### 分科会セッション D（09:30～11:00）

#### D-1 日本外交史Ⅲ

責任者 加藤聖文（国文学研究資料館）

テーマ 戦後日本外交の展開

司会 加藤聖文（国文学研究資料館）

報告 加藤博章（名古屋大学）

「国際緊急援助活動と日本外交——国際緊急援助隊発足を中心に」

大竹徳典

「ニクソン・ショックと日本の対中政策の転換」

長谷川隼人（一橋大学）

「岸政権期（1957～1960）の『東南アジア開発基金』構想の再考 - 政策立案

過程と外交交渉の史的分析を中心に」  
討論 高橋和宏（防衛大学校）

**D-2 国際政治経済Ⅱ** 責任者 和田洋典（青山学院大学）

テーマ 国際政治経済における規制と規範  
司会 古内洋平（フェリス学院大学）  
報告 長久明日香（京都大学）  
「規制調和と WTO——食品安全規制を巡って」  
小川裕子（東海大学）  
「内面化という虚構——国際規範の制度化と実効性」  
松本栄子（三菱東京 UFJ 銀行）  
「米ドル決済システム構造に見る経済制裁の有効性に関する考察」  
討論 内記香子（大阪大学）  
勝間田弘（東北大学）

**D-3 国際交流Ⅱ** 責任者 岸清香（都留文科大学）

テーマ 第 2 次世界大戦期以後の英連邦・日本の国際援助・協力政策——軍事・経済・文化の観点から① イギリス・英連邦の対東南アジア経済・軍事援助  
司会 渡辺昭一（東北学院大学）  
報告 佐藤滋（東北学院大学）  
「イギリスの対マレーシア経済・軍事援助政策の展開と『マレーシア』の形成」  
木畑洋一（成城大学）  
「援助の墓場？——1960 年代におけるオーストラリアのインドネシア援助政策」  
討論 永野隆行（獨協大学）  
坂井一成（神戸大学）

**D-4 国連研究** 責任者 望月康恵（関西学院大学）

テーマ 国連 PKO の新たな課題  
司会 望月康恵（関西学院大学）  
報告 田辺亮（東海大学）  
「国際的な平和活動への参加と要員提供に関する考察——国連および国連以外の平和活動への人的資源の提供に関する計量分析」  
坂根徹（法政大学）  
「国連 PKO の財政分析——財政支出の側面に焦点を当てて」  
討論 井上実佳（広島修道大学）

分科会セッション D・E（09:30～12:45）

**D・E ジェンダーⅠ・Ⅱ**

責任者 戸田真紀子（京都女子大学）

**(連続セッション)**

テーマ① 慣習と人権

司会 戸田真紀子（京都女子大学）

報告 林愛美（大阪大学）

「文化的暴力に対する住民主体の変革運動——ケニア・マサイ社会のFGMを事例に」

浪岡新太郎（明治学院大学）

「共和国における<ムスリム女性>——フランス政府統合高等審議会（Haut Conseil à l'Intégration）における言説」

討論 柄谷利恵子（関西大学）

テーマ②（座談会）国際政治学にジェンダーの視点は必要か？

司会 戸田真紀子（京都女子大学）

パネリスト 竹中千春（立教大学）

田村慶子（北九州市立大学）

柄谷利恵子（関西大学）

浪岡新太郎（明治学院大学）

林愛美（大阪大学）

**分科会セッションE（11:15～12:45）**

**E-1 東アジア国際政治史**

責任者 岩谷将（防衛研究所）

テーマ 中国の対日講和

司会 岩谷将（防衛研究所）

報告 段瑞聡（慶応義塾大学）

「戦後初期国民政府の対日講和構想——対日講和条約審議委員会を中心に」

大澤武司（熊本学園大学）

「中華人民共和国と対日講和——その構想と向ソ一辺倒」

討論 井上正也（成蹊大学）

杉浦康之（防衛研究所）

**E-2 安全保障Ⅲ**

責任者 鶴岡路人（防衛研究所）

テーマ ケネディ・ジョンソン政権のアジア同盟政策の再検討

司会 鶴岡路人（防衛研究所）

報告 玉置敦彦（神奈川大学）

「非対称同盟における「力のパラドックス」——1960年代の米比同盟を事例として」

佐久間一修（防衛大学校）



「ケネディ・ジョンソン政権期の在日米軍削減——ドル防衛問題と対日防衛公約の信頼性」

高橋和宏（防衛大学校）

「日米同盟の『重層化』——1960年代の軍事オフセットをめぐる対日同盟政策」

討論 水本義彦（獨協大学）

福田潤一（世界平和研究所）

### E-3 国際交流Ⅲ

責任者 岸清香（都留文科大学）

テーマ 第2次世界大戦期以後の英連邦・日本の国際援助・協力政策——軍事・経済・文化の観点から② ユネスコに至る国際文化協力

司会 馬場孝（静岡文化芸術大学）

報告 都丸潤子（早稲田大学）

「ユネスコ設立過程とイギリス、日本——平和のための教育文化協力」

潘亮（筑波大学）

「戦後初期のユネスコと中国の対日文化教育政策——使命感と警戒心の交錯」

討論 坂井一成（神戸大学）

齋川貴嗣（日本学術振興会）